

福音の園® だより



特定非営利活動法人 福音の園・埼玉 事務局
〒350-0016 埼玉県川越市木野目 1878 番地 1
Tel. 049-230-1111 Fax. 049-230-1112

埼玉県認定:シニア活躍推進宣言企業
平成 18 年度「高齢者雇用優良事業所 協会会長賞」受賞
平成 27 年度「介護職員確保・定着の為に優れた取組」表彰

ごあいさつ

「2011.3.11」から 15 年目を迎えて

「命を見つめる」ケア目指して

特定非営利活動法人
福音の園・埼玉
理事長 杉澤 卓巳



「3.11 東日本大震災」から 15 年目を迎えたこの春、「3.11 特番」で印象深かったのが、NHK・こころの時代『あなたは今を生きる』（2026.3.1 放送）。奇しくも 3 月 11 日が誕生日で 79 歳になると紹介された精神科医・蟻塚亮二さんのメンタルクリニック（相馬市）診察室風景を記録した番組。2013 年（13 年前）、沖縄から赴任された当初、400 人に届かなかった 1 ヶ月の患者数が今、1 ヶ月 900 人。「東日本大震災から何年とは言えない、地続きで震災後の色々なトラウマが続いている」と、ご自身の半生を振り返るように番組が構成されていた。

蟻塚医師、沖縄時代を記録した「2012 年、ETV 特集『沖縄戦 心の傷～戦後の 67 年 初の大規模調査～』」が挿入されていた。患者の一人、内原つる子さん（存命であれば 90 代後半）は原因不明の足の痛みに悩まされていた。番組語り「沖縄戦当時内原さんは 14 歳、この時のトラウマが数十年後に足の痛みとなって現われていたのです」と紹介。カメラに向かって「私は、戦争中に亡くなった人を踏んづけた。踏んづけたことがあるんですよ、ベターッとね。ベターッと足にくっつく、あの感覚というのかな、あれはもう忘れられなく

てね…」。診察した蟻塚さん、「戦争を体験して、死体を踏んだ罰で自分は眠れない、足が痛いって思っていた戦争 PTSD のばあちゃん（診察や地元テレビ局、新聞社の後押しを通して）「あっ、戦争のことって語っていいんだ、自分を責めなくてもいいんだ！」とようやく解放された。やっと PTSD が沖縄のものになった！」と若い女性番組ディレクターに述懐しておられた。

「3.11」記念月「3 月定例スタッフ研修・会議」。第一ホームでは「3 月研修：虐待防止のための研修その 2—自分の心を振り返る」だった。テキストは『利用者の中には判断力が低下したり、自分勝手な行動（介護職からみた）をとったり、厄介な行動（周囲にとっては）をとることがあります。絶対にしてはいけないこと、「それは反射！」。売り言葉に買い言葉、暴言・暴力は論外！ 虐待につながる可能性がある。』確認テスト解答解説は『利用者の行動を（介護者に対する）「反抗」と捉えるのではなく、その背後にあるニーズやストレス等を理解し、適切なサポートを提供する視点が重要です。利用者の言動の背後にあるものを理解することが、問題解決に繋がるためです。』
—「反抗」と捉えるのではなく、その背後にあるニーズやストレス等を理解することだ！ というのが、さらに踏み込んでその方の「命を見つめる」（生活歴）ことが求められているように思えてならない。ご利用者の「痛みや不調、特異行動」の背後にあるものを「見つめる」ことで「理解」する言葉「解語」を引き出せるように思う。

グループホーム福音の園・川越

川越市木野目きのめ 1878 番地 1
Tel. 049-230-1111



「福音」を掲げて

ホーム長 佐川 裕明



私たちの法人はキリスト教会の牧師と信徒の有志により 2004 年に設立されました。設立の趣旨は「キリスト教精神に基づいた高齢者福祉の実現」です。開設にあたり、法人名を「特定非営利活動法人 福音の園・埼玉」としました。「福音の園®」は登録商標となっています。「福音」とは「キリストによる救い」という「良い知らせ」のことで、この「福音」を掲げて事業を始めたのです。

さて、川越市にも主要事業所がある「パイオニア株式会社」も、「福音」を掲げて事業を始めたことを最近知りました。キリスト教の伝道師、松本勇治の次男として生まれた松本望氏が 1938 年に創業したのが「福音商会電機製作所」。社名の「福音」は創業者の信仰そのものであり、「福（を招く）音」というのはスピーカーメーカーとして相応しいと考えたそうです。1961 年には「パイオニア株式会社」となりますが、創業者の「福音」への思いは受け継がれていきました。

「福音」を掲げ、「神を信じ、隣人に仕え、社会に貢献する」というキリスト教精神が込められた「福音の園®」の働きを通して、地域の皆さまにも、さまざまなかたちで貢献したいと願っています。

◆満開の男塚公園でのお花見

この冬はととても寒かったのですが、満開の桜を

見たらすっかり忘れてしまいました。今年も男塚公園の桜がきれいに咲きました。晴天の 3 月 29 日、皆さんと一緒にゆっくりとお花見しました。



◆「演芸の時間」マジックショーがすごい！

4 月 22 日、「演芸の時間」は「あいりレー福祉事業グループ」（茨城県）のご協力で開催できました。特別ゲストは「マジシャンペー」（<https://peru-magic.com>）さん。ポスターで宣伝していたこともあり、皆さん、当日を楽しみにしておられました。



ショーが始まると大盛り上がり！利用者はもちろん、職員も大いに楽しみました。目で見て楽しめるのがマジックショー。耳が遠い方にもしっかり伝わります。「マジックの力」を実感しました。

グループホーム福音の園・川越第二

川越市萱沼かいぬま 2692 番地 1
Tel. 049-293-7528



最近の行事の様子から

ホーム長 山本 裕隆



新年度がスタートし早くも一ヶ月が経過し、さわやかな風が心地よい季節になりました。施設でも日々穏やかな時間が流れています。

第二事業所では、季節ごとのイベントや外出行事の機会をたくさん持ちたいと願って工夫しています。今回は、最近の行事の様子をお伝えさせていただきます。

●3月13日：パフェ作り

「ホワイトデー行事」としてパフェ作りを行いました。各自好きな具材を選んでいただき、自分好みのパフェを作ってもらいました。



●4月3日：お花見ドライブ・散歩

毎年恒例のお花見ドライブ。今年は、市内の観光スポット なかいん 喜多院 → きたいん 伊佐沼 をドライブで巡り、かみこうえん 鴨田淵ノ上公園 にて散歩、おやつを楽しみました。晴天で、お花見には最高の日でした。



満開の鴨田淵ノ上公園にて

●4月15日：外食（ららぽーと富士見）

富士見市の大型ショッピングセンター「ららぽーと富士見」のフードコート「森のダイニング」。広くて開放感いっぱいですが、休日のランチタイムは席が埋まってしまうほど人気です。

この日は平日（水曜日）で、ゆったり過ごせました。各自好きな店で好きなメニューを選んでいただいたのですが、4人中3人がラーメンで一番人気でした。



●4月28日：外食（すぎのや本陣 川越店）

和食レストラン「すぎのや本陣 川越店」に行きました。皆さんいつも増して食欲旺盛。お腹いっぱい召し上がり大満足のご様子でした。



今後も様々な行事や生き甲斐活動を行っていきたいと思っています。


【川越市 介護支援いきいきポイント事業】のご案内

●参加してみませんか？

川越市では、高齢者の皆様に、地域に貢献する喜びを味わいながら、ますます元気に過ごして頂こうと「川越市介護支援いきいきポイント事業」を実施しています。

グループホーム福音の園・川越、川越第二は当事業の受け入れ機関です。詳しくはお問合せください。

●事業参加の流れ

- ①川越市社会福祉協議会へ登録申請する 
- ②受入機関で介護支援いきいき活動を行う
- ③ポイント手帳に「スタンプ」をもらう（1時間で1個）
- ④ポイントを奨励金または市の特産品等と交換

●対象者

市内に住民登録のある65歳以上（川越市介護保険第一号被保険者）で、活動ができる身体状況にあり、登録研修を受講された方。

●登録について

活動を行うためには、登録が必要です。川越市社会福祉協議会が実施する研修を受講し、事業目的や活動の心得を理解した上で登録していただきます。※「ボランティア活動保険」加入が必要です。

●介護支援いきいき活動

- ・施設の催事に関する手伝い
- ・散歩、外出、屋内移動の補助
- ・話し相手、傾聴、朗読
- ・職員とともに清掃の補助、洗濯物の整理等

●いきいきポイント付与・交換

ポイント手帳にスタンプが押印されることで貯まります。スタンプ1個につき1ポイントとして換算、翌年度10ポイントにつき1,000円分の奨励金または市の特産品と交換できます。（最大5,000円分）

星野富弘詩画作品展 開催中！

群馬県みどり市立「富弘美術館」また「富弘美術館を囲む会」埼玉県支部のご協力により詩画家・星野富弘氏(2024年4月逝去)の作品を福音の園・川越(木野目)、福音の園・川越第二「寄ってケア室」(萱沼)に展示しています。



星野富弘氏

展示作品は不定期で入れ替えをしています。



施設での展示会の様子

スタッフ・ボランティア・見学 募集中！

グループホーム福音の園・川越

川越市木野目きのみ 1878 番地 1
Tel. 049-230-1111

◆入居者は現在満室です（待機者3名）。

グループホーム福音の園・川越第二

川越市萱沼かいぬま 2692 番地 1
Tel. 049-293-7528

◆入居者は現在満室です（待機者1名）。

◆いずれも満室ですが、見学・相談はできます。「グループホームってどんな所？」と関心ある方、お気軽にご連絡ください。

◆介護士（パートさん・介護助手など）ご希望の方の見学・相談も随時受け付けています。

◆ボランティア（レクリエーション・話し相手・お茶出し…など）も大歓迎いたします。